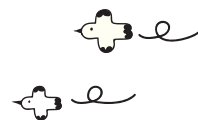




2022年度 第4回社会包摂デザイン研究会



# 「災害と農業・農村」

近年頻発する各地の自然災害において、農村エリアでは、農業や農ある暮らしを対象としたボランティア活動が見られるようになりました。大規模災害の際に社会福祉協議会が設置する災害ボランティアセンターは通常、生活支援を目的とするため、家屋の片付けにボランティアの派遣を行い、農地や水路の復旧に派遣することはありません。一方、被災された農家にとって、農業は収入源であると共に、日々の食料を生産し、健康と生活、そして地域の環境を守り育む営みそのものであり、早期復旧が望まれます。このような状況の中、各地のNPO、JA、行政機関が連携した支援の事例が増えてきました。本研究会では、研究者から農を対象とした災害ボランティアの位置づけを紹介すると共に、ゲストとして農林中金総合研究所の野場氏、被災地NGO協働センターの頼政氏をお招きし、これらの活動が農業セクターから、またボランティアセクターからどのように見えているのか、協働を推し進めるにはどうしたら良いのか、ディスカッションを通じ、その論点を見出します。

日時：2023年2月8日(水) 18:30~20:20

開催方法：オンライン

## プログラム

- 18:30 開会あいさつ、会の主旨説明
- 18:35 発表
- 19:25 ディスカッション
- 19:55 質疑応答
- 20:15 閉会あいさつ

## 登壇者

### 発表1 「農業ボランティアの登場とその課題

～東日本大震災から令和元年東日本台風まで～

齊藤 康則 (東北学院大学経済学部 准教授)

### 発表2 「平時の交流から災害時のボランティアへの活動展開」

朝廣 和夫 (九州大学芸術工学研究院 准教授)

### 発表3 「農業セクターからの視点

～農業協同組合と災害復興の関わりを題材に～

野場 隆汰 (農林中金総合研究所調査第一部 研究員)

### 発表4 「ボランティアセクターからの視点」

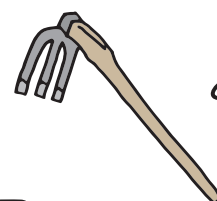
頼政 良太 (被災地NGO協働センター 代表)

## 募集要項

対象者：社会包摂や農業・ボランティアに興味関心がある方。参加無料。

下記URLか二次元コードより**事前申込み**をお願いします。

URL：<https://forms.gle/ddst2Ylytfk4jaqM6>



主催：九州大学大学院芸術工学研究院  
社会包摂デザイン・イニシアティブ



Design Initiative for  
Diversity & Inclusion  
社会包摂デザイン・イニシアティブ